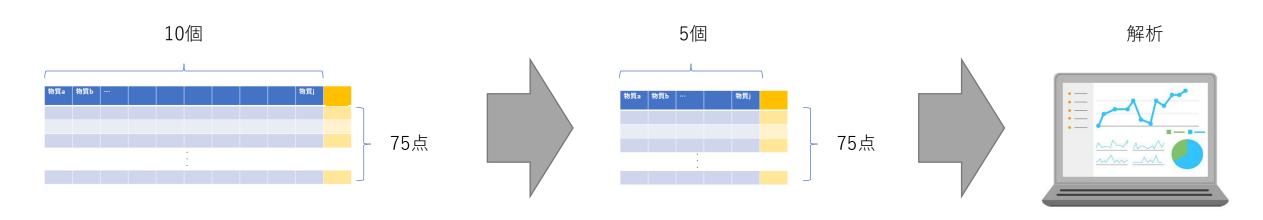
- ① 説明変数の数に対して蓄積すべきデータの最低量
- ② 解析目標「当りを付けた数種類の物質について、 有効に作用する混合比を特定する」

について

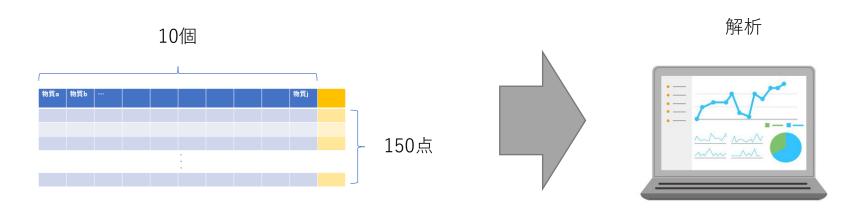
①説明変数を10点にして、実験を行い、データを蓄積する

物質a	物質b	•••				物質j	有効 成分
				•			
				•			

②蓄積データが75点に達した時、説明変数を5点に絞って、解析をかける(蓄積開始から1~2か月後)



③蓄積データが150点に達した時、説明変数を10点を使って、解析にかける(蓄積開始から3~4か月後)



- ④データ解析によって、以下が期待できる
 - ・有効成分に対する、10変数それぞれの寄与度などが分かる。
 - ・10変数のパラメータを調整した時の、有効成分の値をシミュレーションできる。
 - ・有効成分を最大化する10変数のパラメータを探索できる。

補足:

- ・説明変数の数… 10個 (候補物質9点+細胞活性の値 or 候補物質10点)
- ・目的変数の数… 1個 (有効成分単体 or 有効成分に細胞活性の寄与率をかけて、バイアスを除いた値)

③分析案「抗炎症作用が高い分画に頻出した物質を見出す」 について

①ヒストグラムの色分けをする

相対活性の閾値:

高い群 (80≦相対活性)

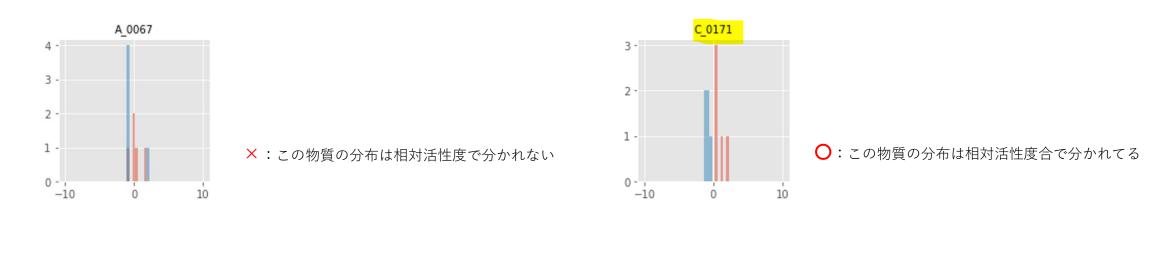
低い群 (80>相対活性)

相対活性(有効成分)が高い群

相対活性(有効成分)が高い群

群名	Control	C-T-1	C2-T-1	C-T-1A	C-T-2	C-T-3A	C-T-3B	C-T-3C	C-T-3D	C-T-3E
	100	95	76	91	0	97	89	53	20	0
	68	65	52	62	0	66	61	36	13	0
	0.0200	0.0171	0.0093	0.0148	0.0000	0.0184	0.0141	0.0045	0.0015	0.0000
	0.01	0.01	0.025	0.01	0.01	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
	2.00	1.71	0.37	1.48	0.00	3.68	2.81	0.90	0.31	0.00
補正後推定Y相対含有量	100	86	19	74	0	184	141	45	15	0

②ヒストグラムを見て、赤い群と青い群がハッキリ分かれていた物質を「相対活性に寄与していそうな物質」とする



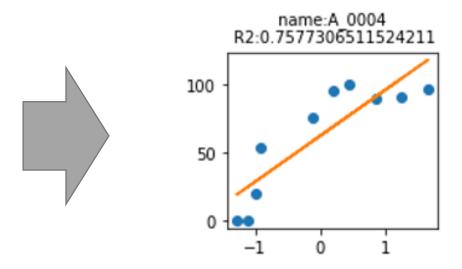
③ヒストグラムを見て抽出した、相対活性に寄与していそうな物質が62点みつかった(まだまだ多い)

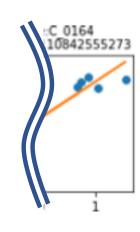
| Part |

※ご参考:「XXX.xlsx」のタブ「XXX」

④ここから更に、物質を厳選する(62の物質毎に、相対活性との相関係数R2を回帰分析によって算出する)

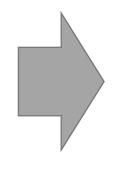
			1			
A_0004	A_0005	A_0026	A_0041	C_0209		
0.455222	0.790569	1.031564	0.932083	88	1.201825	
0.18823	0.790569	0.621749	0.391745	(4	0.22192	
-0.11881	-0.79057	-0.81261	-0.28368	35	-1.16148	
1.256198	1.581139	0.768111	0.481801	4.8	0.394844	
-1.28023	-0.79057	-0.81261	-0.77899	95	-1.16148	
1.656687	1.581139	2.114648	2.372983	37	2.066447	
0.85571	-0.79057	-0.5433	-0.7789	62	0.279561	
-0.90644	-0.79057	-0.74235	-0.77899	:26	-0.29685	
-0.98654	-0.79057	-0.81261	-0.77899	01	-0.66576	
-1.12003	-0.79057	-0.81261	-0.77899	35	-0.87903	
	0.455222 0.18823 -0.11881 1.256198 -1.28023 1.656687 0.85571 -0.90644 -0.98654	0.455222 0.790569 0.18823 0.790569 -0.11881 -0.79057 1.256198 1.581139 -1.28023 -0.79057 1.656687 1.581139 0.85571 -0.79057 -0.90644 -0.79057 -0.98654 -0.79057	0.455222 0.790569 1.031564 0.18823 0.790569 0.621749 -0.11881 -0.79057 -0.81261 1.256198 1.581139 0.768111 -1.28023 -0.79057 -0.81261 1.656687 1.581139 2.114648 0.85571 -0.79057 -0.5433 -0.90644 -0.79057 -0.74235 -0.98654 -0.79057 -0.81261	0.455222 0.790569 1.031564 0.932083 0.18823 0.790569 0.621749 0.391745 -0.11881 -0.79057 -0.81261 -0.28368 1.256198 1.581139 0.768111 0.481801 -1.28023 -0.79057 -0.81261 -0.77899 1.656687 1.581139 2.114648 2.372983 0.85571 -0.79057 -0.5433 -0.7789 -0.90644 -0.79057 -0.74235 -0.77899 -0.98654 -0.79057 -0.81261 -0.77899	0.455222 0.790569 1.031564 0.932083 38 0.18823 0.790569 0.621749 0.391745 4 -0.11881 -0.79057 -0.81261 -0.28368 35 1.256198 1.581139 0.768111 0.481801 48 -1.28023 -0.79057 -0.81261 -0.77899 95 1.656687 1.581139 2.114648 2.372983 37 0.85571 -0.79057 -0.5433 -0.77899 62 -0.90644 -0.79057 -0.74235 -0.77899 26 -0.98654 -0.79057 -0.81261 -0.77899 101	





⑤62物質について、相関係数R2が高かった順に並び替えする

物質名	相関係数
C_0173	0.915611938
A_0004	0.757730651
C_0164	0.740711084
C_0024	0.737866072
C_0029	0.728186251
	•
	•
C 0193	0.358106028
0_0133	0.330100020



相関係数の高かった物質TOP10 (説明変数の候補?)

物質名C_0173A_0004C_0164C_0024C_0029C_0049C_0131C_0033C_0101相関係数0.9156120.7577310.7407110.7378660.7281860.708040.6855560.661530.651488

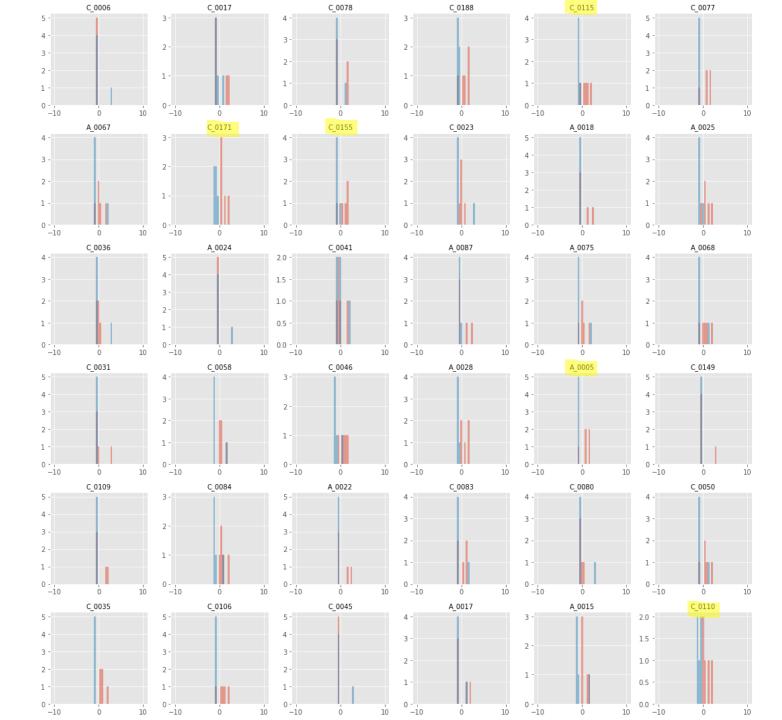
※ご参考:「XXX.xlsx」のタブ「YYY」

参考:

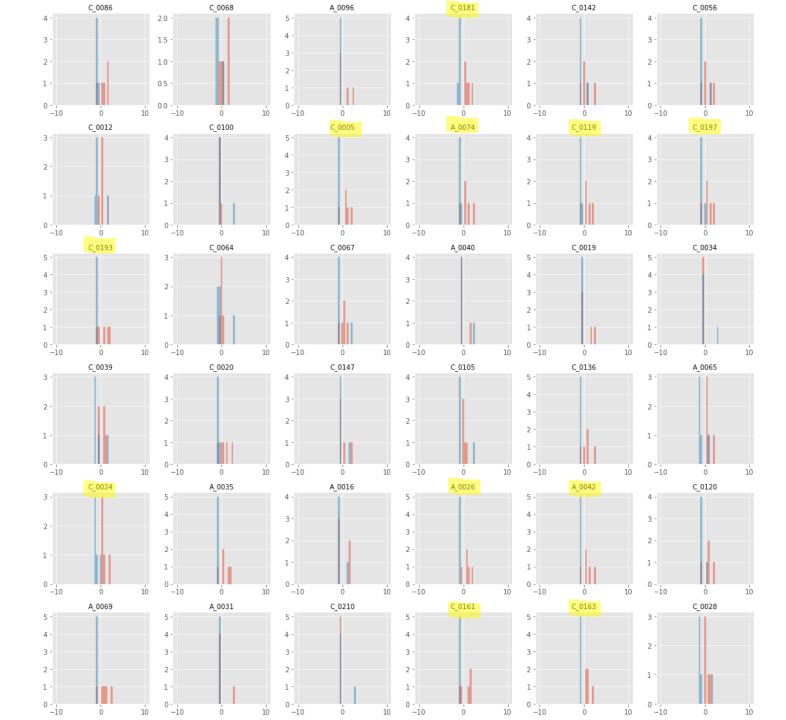
エタノール抽出からXXXに寄与していそうな物質を特定 (機密事項により割愛)

Appendix

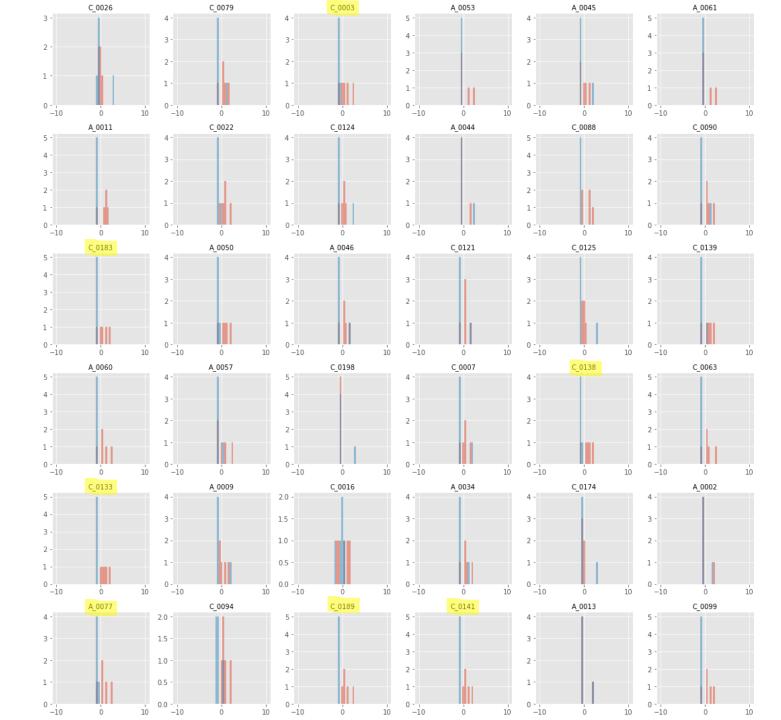
参考: 262物質の ヒストグラム



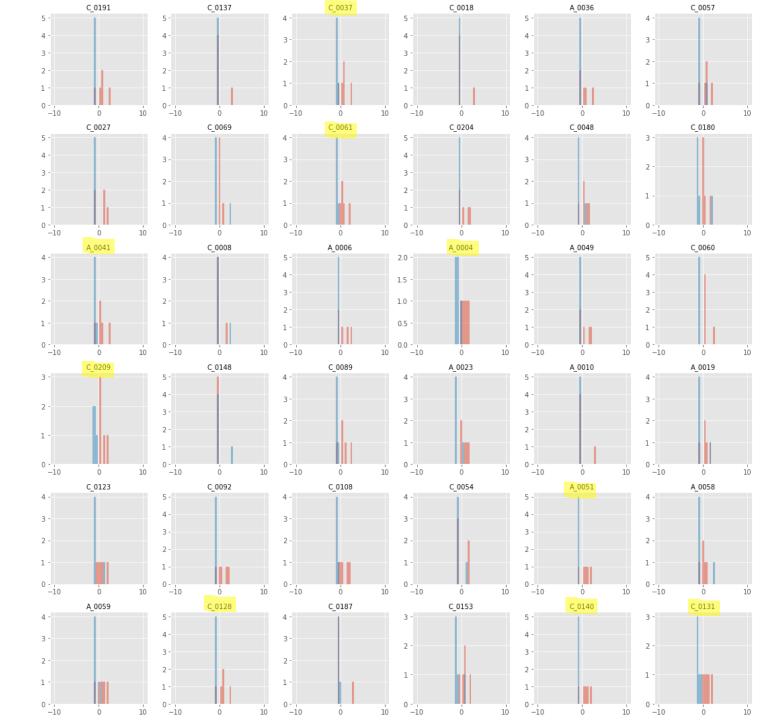
参考: 262物質の ヒストグラム



参考: 262物質の ヒストグラム



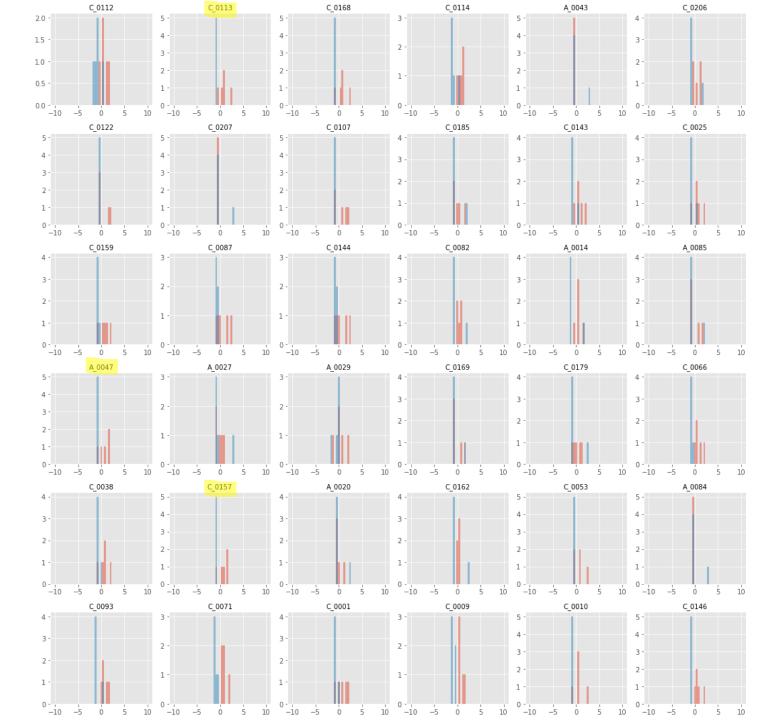
参考: 262物質の ヒストグラム



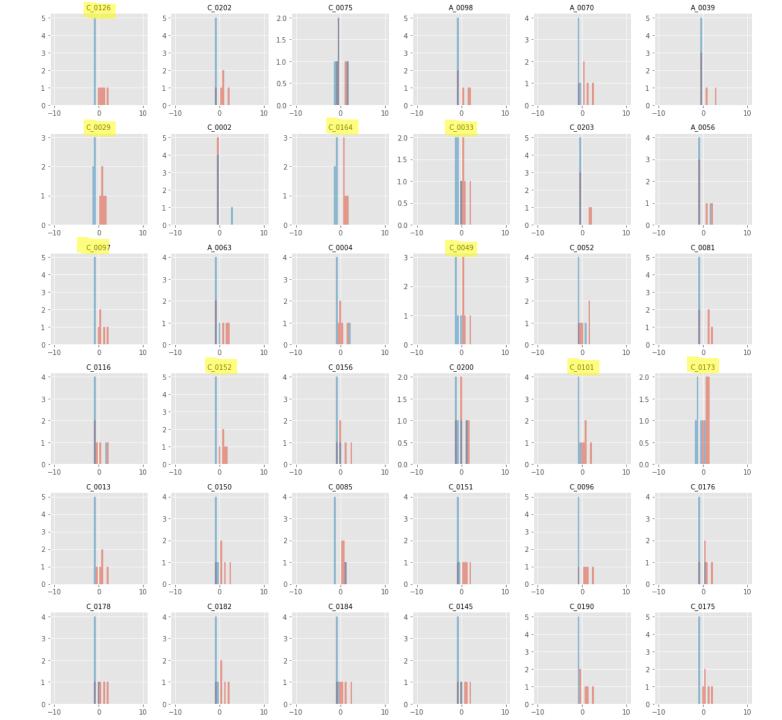
参考: 262物質の ヒストグラム



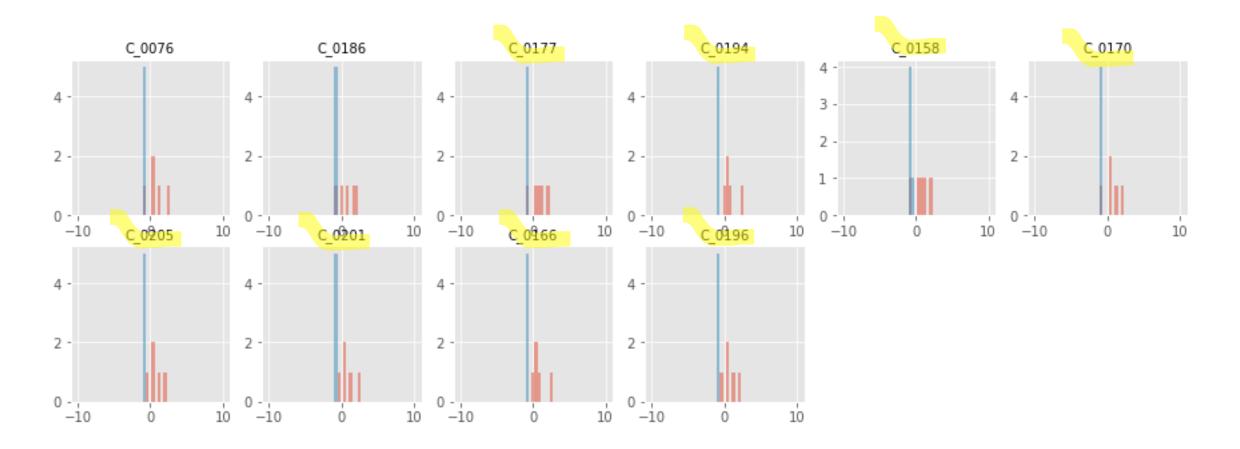
参考: 262物質の ヒストグラム



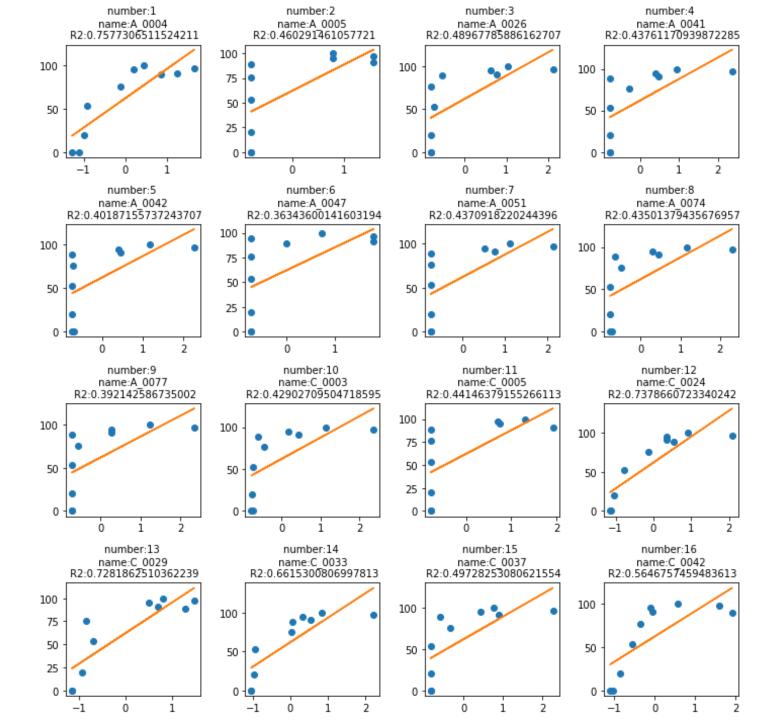
参考: 262物質の ヒストグラム



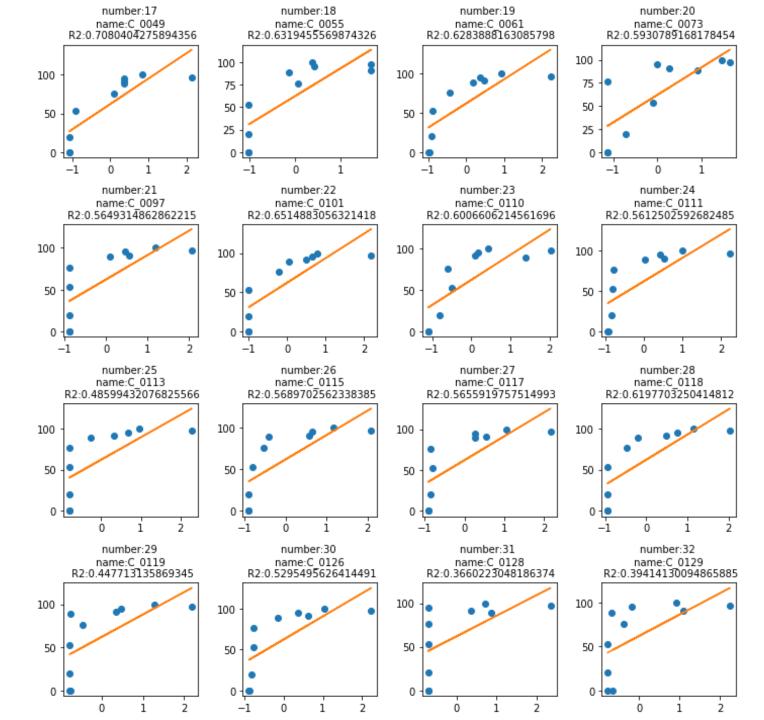
参考: 262物質の ヒストグラム



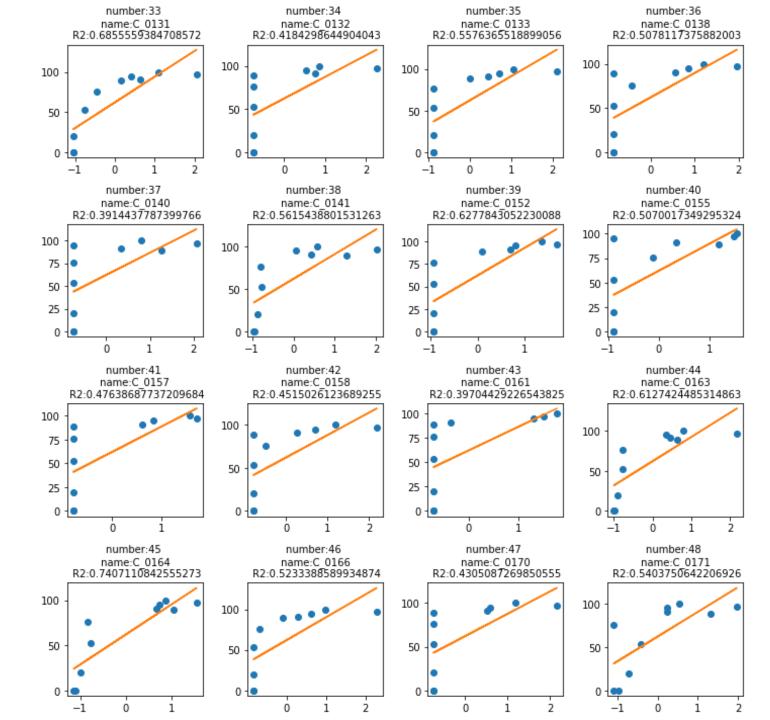
参考: 62物質の 線形回帰係数



参考: 62物質の 線形回帰係数



参考: 62物質の 線形回帰係数



参考: 62物質の 線形回帰係数

